

2022-23年度

# ガバナー公式訪問

## クラブ協議会

と き 令和4年8月31日(水)

ところ ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

### 飯能ロータリークラブ 日高ロータリークラブ

#### ●クラブ奉仕委員会 新井景三委員長



私が入会したのは亡くなられた橋本さんの年度で、いろいろな思い出があって、あのよう真面目に、皆に好かれながら、元気でゴルフが出来たり仲良く出来たらいいなと若い頃から目標にしていた方でした。ご冥福をお祈り申し上げます。「クラブ奉仕」は定款上はクラブの機能を充実させるためにクラブ内で会員がとるべき行動に関わるものであるという事で、大変抽象的、広範囲にわたっております。昨年度、クラブ奉仕、戦略計画、情報の三者合同で3年未満の方々と研修懇談会をされました。今年も同じようにさせて頂くように考えており、土屋情報委員長が中心となって内容を練っていくところであります。11/2夕刻、ヘリテイジ飯能で開催予定ですので各委員、3年未満の方々よろしくお願ひ致します。親睦を深め、より充実したクラブになるよう努力させて頂きます。

#### ●職業奉仕委員会 (加藤委員長代理) 大嶋研一委員



私自身入会して間がない事もございまして、職業奉仕委員会の活動、考え方、理念への準備が十分でなく、不足があるかと思ひますがご容赦頂けたらと思ひます。ロータリアンというのは各自の職業を通じて奉仕の心を高め、そして実践していく必要があると私は理解しております。その上で職業人たる我々は自らの事業をまずは合法的道徳的に真摯な心で利益を追求し、その上で継続的に発展させる事を日々願ひながら努力しているという事だと思ひます。従いまして「職業人として」というところが大事になってくるかと思ひますが、職業人としてより高い倫理の向上に努め、自己の職業を通じて他者、世の中に、奉仕の心を広めていくという事を目指して活動して参ります。具体的には、職業奉仕の実践におけるロータリアンの行動指針「四つのテスト」を第1例会に唱和し会員皆の意識を高めて参りたい。是非ご協力よろしくお願ひ致します。

#### ●社会奉仕委員会 福島 毅委員長



この委員会の所属は初めてで、どういった奉仕活動をしていくかについて矢島会長にご指導頂きました。どこまで出来るか、一生懸命やらせて頂きたいと思ひます。村田ガバナーの「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を実践しよう!」、矢島会長も「今こそロータリーの魅力を」という事で例会や親睦会への出席を通じて多くの仲間をつくり、切磋琢磨して自己改善に努めようと提唱されています。それが人の役に立つ喜びや思いやりの心に繋がる事で、社会奉仕の行動となっていくと思ひます。職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕等と協力して積極的な奉仕活動の実践に努めていきたいと思ひます。具体的には、委員会予算から各団体への寄付・協賛金・会費の拠出。青少年奉仕と「飯能RCカップせせらぎ杯中学生卓球大会」「飯能RCカップ少年野球大会」の開催。社会奉仕活動についての卓話、「ロータリー奉仕デー」を実施致します。

#### ●国際奉仕委員会 伊澤健司委員長



国際奉仕の基本方針に「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進するために会員が行う活動から成るもの」とあります。「ポリオプラス」への貢献から青少年交換学生派遣国での異文化適応支援まで、さまざまな活動がこれに当てはまります。飯能RCの具体的活動内容として、(1) 継続事業：駿河台大学の留学生支援として「日本語スピーチコンテスト」への参加・協力。コロナの影響でここ2年行われていませんが実施の際には「飯能RC賞」を授与。(2) 同コンテストの結果を卓話で発表。(3) 国際大会への参加推進。(4) ロータリー財団、米山記念奨学委員会との連携。これらに取り組みます。

8/6 飯能市国際交流協会主催「外国人による日本語スピーチ発表会」に飯能RCとしては登壇者に参加賞の授与を行い、参加者、

開催関係者から大変喜ばれました。このような機会がありましたら積極的に参加し、国際奉仕に貢献して参りたいと思っております。

### ●青少年奉仕委員会 本橋 勝委員長



杉田、藤原、本間委員と私、4名で構成されております。委員会の責務は、飯能RCを代表して地域未来を担う青少年の育成・支援をする事です。そのためには関連団体との連携を図ってロータリアンとしての具体的な施策を実施していきたいと思っております。(1)「飯能RC」冠の青少年スポーツ大会、卓球大会、野球大会を継続。先輩方が冠事業を計画して進めて頂いておりますので私も継続して参りたい。(2)地域青少年の教育・文化関連の新規事業も検討したいと思っております。(3)担当例会の卓話講師を探し、青少年育成に繋がる卓話をお願いします。

今年一年どうぞよろしくお願ひ致します。

### ●(日高RC)小坂雅彦、清水義峰、羽吹義明、武藤和雄、町田秀雄委員長の発表(省略)



### ●村田ガバナー講評

「職業奉仕」難しい部分ですね。各クラブ様を回らせて頂いていても「職業を通じて奉仕する」等のお話が結構出ます。今回の発表は大変素晴らしい内容で、コロナ禍で活動

が少し停滞している部分もございますが、その中でも奉仕活動が継続されております。地区補助金委員長をやらせて頂いている際も飯能、日高RCは地区の補助金を活用され、その事業内容は私の方でも把握はしております。コロナが落ち着いてもっともっと活動が出来たらなというところがございます。

「公式名簿」というものがRIにはございますが、その裏表紙にずっと書かれていた言葉がありました。毎回「奉仕の理想に集いし友よ」と歌を歌っておりますけれども、この「奉仕の理想に集う」、この「奉仕の理想とは」というところが最近では書かれなくなったのですが「奉仕の理想とは思いやる気持ちをもって人のために尽くす」というところが英文でずっと書かれておりました。「例会」の大事さというのは、会長幹事さん、各委員会、委員長さんがこのように準備をして下さったので、「思いやる気持ちをもって」行ってあげようかなと、そういう思いで出なさい、と私自身は教わって参りました。このポケーション・サービス“天職”を通じて奉仕をしていくというところに7つの重点分野もございませう。 「母子の健康」ドクターの方もいらっしゃいますし、職業上「母子の健康」のために職業を通じてやっていますよという方もさまざまな業種でおられます。その中で「母子の健康」で事業をやるという事になった時、じゃあ、財団

の資金を活用しよう、RCの青少年に声を掛けて一緒になって動いて頂くとか、さまざまなアイデアをクラブで出して頂いて、この奉仕事業をやるためにはこの職業の人が必要だよね、とか、さまざまな人が集まって是非とも委員会で活動が出来たらなと思ひます。昨今のRIは他の委員会とも協力し合いながら合同でやる事業というものが増えてきております。2011-12年度は財団が「未来計画」でガラッと変わった時でした。RIと財団は両輪であるという事が言われております。RIの使命は親善平和を推進すること、ロータリー財団の場合は達成または構築というところになっております。国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕、全て財団が絡んでおり、財団を知る事によって全ての奉仕事業を知る事にもなります。

最近RIはリソースを紙ベースで出さなくなってきており、「My ROTARY」から各委員長さんがリソースを引っ張ってきて頂いて会員皆様に周知をして頂けたらと思ひます。

財団への寄付の話がありました。私自身が委員長の時言わせて頂いているのが、「是非とも財団を理解してから支援をして下さい」という事です。理解をせずに寄付するのではなく、青少年でもそうですが、財団を理解して、じゃあ、このことなら支援をしよう、という事で、最近では“寄付”という言葉も使われなくなってきております。

最後になりますが、「標準ロータリークラブ定款」第6条に「五大奉仕部門」について全て載っておりますので是非ご覧になって頂きたいと思ひます。大事なのが「第3条」「第5条」「第6条」、RIとしてお約束をしている「第16条」。ここにRCの目的から全て書かれておりますので、是非とも委員会を挙げてその辺も理解しながら進めて頂ければと思ひます。大先輩を前にして生意気なお話をさせて頂きましたけれども、大変素晴らしいクラブ様で、これからの公式訪問では是非ともご紹介をさせて頂きたいと思ひます。本日は有難うございました。

